

カトリック高松教区 (大船渡プロジェクト) 東日本大震災救援・復興活動ニュースレター (7)

発行人 高松教区サポートセンター 2013年4月18日発行
編集 谷口広海
寄付 郵便振り込み: カトリック高松司教区
01650-7-13208
(お振込の際はTSCへの寄付の意向を必ずご記入ください)
tel:090-9577-4131 Email:tk-koho@mxi.netwave.or.jp

主のご復活おめでとうございます。
4月に入り、また新たな年度が始まりました。しかし、被災地は今も日々の状況の変化や、復旧期からまだ抜け出せない中、復興はいつになるのか見当もつかない状況だ。これからも息の長い活動を続けるため、皆様の変わらないご支援をお願い致します。

新年度になり各地のサポートセンターでは人員の配置換えなどで、また新たなメンバーが復興に関わるようになります。これらの方々とも意思の疎通を図りながら、また新たな心で協力できるように励んで参ります。

2013年3月17日 第2回TSC担当者会議を開催

四国4地区(4県)の担当者を集めて第2回TSC会議を開催した。担当者会議ではこれからのTSC活動の在り方(息長く継続するために)として以下の事柄を決定した。

- 1・「お米券」活動はTSC基本支援事業として継続する。
- 2・ワンコイン運動を新たに設ける。

被災地で働くボランティアの減少を受けて、ボランティアの発掘と派遣を積極的に進める。そのための手立てとして、個人的にはボランティア活動をしたくても経済的・時間的・距離的に難しい中で、活動可能な人材を助けることによって参加し 寄与することが出来るように各小教区にワンコインボランティア箱を設置し、広く協力を呼びかける。

- 3・ボランティア派遣に関わる交通費を支給する。

短期(2週間以内): 半額

長期(2週間以上): 全額

- 4・大船渡ベースと協力し、被災地零細企業特産物販売を支援する。

- 5・第2回さぬきうどん振舞い隊を実施する。

詳細については下記掲載のポスターをご覧ください。

「大船渡便り」も発行されました。読んで下さい!

亡くなられた人々安らかに
道後教会で震災被災者支援行事



亡くなられた人々に『安らかにお休みください』とローソクの灯を捧げる参加者たち

「3・11を忘れない」をテーマに道後教会では3月10日の日曜日、昨年に続いて東日本大震災被災者支援の追悼行事を行った。震災から丸2年、復興はまだまだの状況で、厳しい生活を強いられている被災者支援は続けるべきだと同教会評議会が行事開催を決定した。

午前10時30分から復興祈願ミサ、続いて復興支援バザー、鎮魂のコンサートを行った。亡くなられた方々へ慰霊の祈りを捧げるとともに、悲しみの中で生活している多くの被災者への支援を目的としている。

川上栄治神父司式のミサでは、亡くなられた方々が永遠の安らぎに入りますように、また困難な中で生活が続いている被災者が元の安らかな生活を取り戻すことができますように、参加者全員が心を合わせて祈った。

石巻の特産醤油も販売

バザーでは同教会名物の特製カレーのほか、今回は被災地・宮城県石巻の特産醤油や白だし、味噌汁なども出品され、地域支援をしようという人々の関心を集めほとんどが売り切れた。ほかに信徒の手芸品なども出された。

続いて聖堂でコンサートが開かれ約70人の人々が集まった。まずキャンドルサービスで出席者にローソクの灯が配られ、『すべての人よ主をたたえよ』を全員で歌い始まった。メーンは合唱団「アンサンブル・ユビラテ」による「レクイエム」(死者のためのミサ曲)が歌われた。荘重な、そして静かな祈りのような歌声が聴衆を包み、被災者の方々が安らかにという思いが会場に満ちていた。最後にローソクの灯が祭壇に捧げられ、死

TSC 第2回

さぬきうどん振舞い隊

参加者募集中!

あなたも東北へ行って確かめてみませんか。
うどん炊き出しボランティアと被害状況の確認をします!

実施要項

- 日時: 2013年6月7日(金)~11日(火)
- 目的地: 大船渡ベース(地の森いこいの家)
- 参加費: 10,000円(交通費: 申し込み時)
但し、宿泊費自己負担(地元ホテル2泊
1泊7,000円X2程度)
- 募集人員: 40名(最大)
- 交通手段: 大型貸し切りバス(リクライニング)
- 申し込み期限: 5月15日
- 申込み先: TSC ☎ 070(5512)6810 谷口助祭
メール: tk-koho@mxi.netwave.or.jp



奮ってご応募、問い合わせください!

大船渡でのボランティアを募集しています

肩ひじ張らずに自分にできること

ワンコインで参加

そう考えた時

そういう手もあるんだな!

各小教区に「ワンコインボックス」を備えます。ご協力ください!

高松教区サポートセンター
大船渡プロジェクト
2013年12月3日
お米券キャンペーン!
被災された人々へ
被災地復興を支援する
お米券を配布させていただきます。
息の長い支援の在り方として最前線の方たち!
TSC 大船渡ベース(地の森いこいの家) 電話:070-5512-6810
ワンコイン運動(ワンコインボックス) 電話:070-5512-6810
ボランティア募集中! 電話:070-5512-6810 Email:tk-koho@mxi.netwave.or.jp

どんこ汁

小豆島教会 日向育子

大船渡市赤崎地区、ここは高松教区が支援している地の森ボランティアベースから車で20分ほど海沿いに走った地域。いくつもの集落がまるごと流された被災地である。

ベースに入って4日目、この地区のめんこいサロンへ「出張お茶っこ」で伺った。めんこいサロンは、山を切り開いて建てられた仮設住宅の一室にある75才から上の女性サロンだ。入ると、「まずまず、ようお越しくさった。」と、ここに顔のおばあちゃんが座布団を勧め、開始時間までにみなさん集合。黒一点の男性ボランティアは「ダンナさんはここ」って、超人気者。指体操を教えるように言われて、右や左にまわしてたいへん。

東北の味のある会話にケラケラ笑っていると、「あんたら、話分かって笑ってるすか?」と聞かれて、「うーん」と頭をひねるとまた大笑い。屋になると、どんこ汁とサラダの定食をふるまっていた。その間に、ご主人を津波で亡くした女性のお葬式が今日あると聞いた。「あん人のおとさんさ、屋根の上から、助けて

魚の頭が睨むどんこ汁



静かに佇む津波到達の碑

けれー、ヘリコプター呼んでけれーと助け求めたども、誰もどうにもできなくて、流されてったんだ。」「この人のおとさんも、流されたんだよ。おとさんは息子のことさ」という会話に、頷くしかなかった。どんこ汁は温かくて、魚の頭は出迎いの94才の「サロン頭」に入れられた。「会いにきてくれて、ありがとね。」「うん、また来月来っから」とサロンを後にした。